平成29年度「大規模プロジェクト型」研究開発提案書（様式１）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 応募技術テーマ  ※応募するテーマ１つに ｢○｣を記入してください。 |  | 粒子加速器の革新的な小型化及び高エネルギー化につながる レーザープラズマ加速技術 |
|  | エネルギー損失の革新的な低減化につながる高温超電導線材 接合技術 |
|  | 自己位置推定機器の革新的な高精度化及び小型化につながる 量子慣性センサー技術 |
| 研究開発課題名  ※20文字程度 |  | |
| 研究開発期間 | 全期間：　2017年　　　月～　　　　年　　　月（　　　年間） | |
| 希望する研究開発費  （直接経費＋間接経費）  ※ （1）＝（2）＋（3）  小数点は記入しないで  ください。 | （1）全期間で希望する研究開発費総額　　 （　　　　　百万円） | |
| （2）1～4年度目で希望する研究開発費総額（　　　　　百万円） | |
| （3）5年度目以降で希望する研究開発費総額（　　　　　百万円） | |
| 資金導入対象機関に よる資金負担見積 *※* | 年度目～　　年度目の総額　　　　　　 （　　　百万円相当） | |
|  | ※「3.1.2 (9) ステージゲート評価」を必ず参照してください。 | |
| 研究開発代表者 （PM）氏名 |  | |
| 所属機関・部署・役職 |  | |
| 運営統括との 利害関係  ※チェックしてください | 運営統括との利害関係が　　□ ある　　　□ ない  ※利害関係がある場合は（様式5）｢4.その他｣に具体的な内容を記載してください。 | |
| 研究者番号 | ※府省共通研究開発管理システム(e-Rad〕)より付与された 8桁の研究者番号を記載 | |
| 研究開発代表者 （PM）の情報 | URL：  著者ID：  ※研究代表者情報を収載しているホームページ（研究室ホームページ、researchmapページ等）があればURLを、またORCID IDやWeb of Science のResearcher ID、SCOPUSの著者IDをご存知の方は、当該IDを記載ください。 | |

研究開発提案書・研究開発提案者（様式２）

#### ○ 研究開発代表者の基本情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **（フリガナ）**  **氏名** |  | | | | |
| **国籍／性別** |  | | **生年月日（西暦）** |  | |
| **所属機関・役職** |  | | |  | |
| **住所又は居所** |  | | | | |
| **学歴**  **（大学卒業 以降）** | 学歴：  （記入例）  平成◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業  平成◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了  平成◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了  平成◯◯年 博士（◯◯学）（◯◯大学） 取得 | | | | |
| **研究開発歴**  **（主な職歴と 研究内容）** | 職歴：  （記入例）  平成◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯開発部（◯◯◯◯について開発）  平成◯◯年～◯◯年 ◯◯大学特任准教授（◯◯◯◯に関する研究に従事）  平成◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯事業部（◯◯◯◯事業担当） | | | | |
| **その他 特記すべき 活動歴** | （社会貢献活動、国際活動等本事業に関わる特記事項があれば任意記入） | | | | |
| **応募者の 資質・素養に 関する情報①** | 事業化を指向した研究開発や先端技術を核とした事業化のマネジメントに  関する主な経験・実績：  ※本項目の記載にあたっては、募集要項「4.1.3 選考の観点」の＜大規模プロジェクト型の選考基準の補足＞の項目「５. PMの資質・実績が妥当か」を参照のこと。 | | | | |
| **応募者の 資質・素養に 関する情報②** | 本事業が求めるPMとして、自らが適任であると考える理由：  ※本項目の記載にあたっては、募集要項「4.1.3 選考の観点」の＜大規模プロジェクト型の選考基準の補足＞の項目「５. PMの資質・実績が妥当か」を参照のこと。 | | | | |
| **兼任について** | （兼任を希望する場合のみ記載）  ※募集要項「3.2.4応募要件」を踏まえつつ例外的に兼任が必要な理由を明示するとともに、エフォート比率、クロスアポイントメント制度の有無・制度制定見込み、兼任について所属機関が許可する見込み等を簡潔に記載ください。 | | | | |
| **PM採択後の エフォート** | PM採択後、機構に 雇用されるまでの 期間のエフォート | PM業務のエフォート | | | ％（予定） |
| PM業務以外のエフォート | | | ％（予定） |
| 機構に雇用された 後のエフォート | PM業務のエフォート | | | ％（予定） |
| PM業務以外のエフォート | | | ％（予定） |

研究開発提案書・全体構想（様式３）

※募集要項「4.1.3 選考の観点」及び「5.2.1 大規模プロジェクト型の運営方針」も  
あわせて必ずご確認ください。

# １．本研究開発課題で達成するPOC

※研究開発期間全体を通じて達成するPOCについて、簡潔かつ明確（客観的に成否の判断が可能なように）に記載して下さい。

# ２．本研究開発課題のPOCを設定した理由

※なぜそのPOCを達成目標としたのか、下記を踏まえ､可能な範囲で定量的かつ具体的に記載してください。

・技術テーマを実証・実現するにあたって、今まさに解決に着手すべきと考える技術・社会・産業上の問題は何か。また、その問題を設定した経緯・根拠。

・その問題を解決（POCを達成し技術を社会実装）した場合に国内外に創出される価値、すなわち社会・経済的なインパクト。

・他の制度では取り組めないようなハイリスク・ハイインパクトなチャレンジをするものであること（漸進的ではなく、非連続なイノベーションを目指すものか）。

※「1.本研究開発課題で達成するPOC」および本項目の内容を簡潔にまとめ、e-Rad「共通項目」の「研究目的」に記載して下さい（300文字程度）

# ３．POC達成のために必要な方策

※下記を踏まえ、可能な範囲で定量的かつ具体的に記載してください。

・現状POC実現に至っていない背景・問題点を、市場動向・社会的要請や研究開発・技術動向等  
俯瞰的に国内外の状況を現状分析した上で、明確化すること。

・現状POC実現に至っていない背景・問題点を踏まえて、POC実現に向けて背景・問題点を  
克服可能とする必要な方策について記載すること。また、方策については、独創性・挑戦性及び有効性を示すとともに認識されているリスクについても記載すること。

・・・ 様式３はここまでで図表含め４ページを超えないこと ・・・

研究開発提案書・研究開発計画（様式４）

# １．研究開発課題を始めるにあたっての準備状況

※以下についての準備状況を国内外の研究開発動向を含め具体的に記載してください。

・社会実装にあたっての課題の把握

・技術的課題およびその難易度と実現可能性の把握

・従来技術や既存知的財産権の確認による、本提案創出技術の相違点・優位性の把握

・課題の把握や解決、POC達成に向けた産業界との連携や参画の計画

# ２．詳細な研究開発計画とその進め方

※以下の観点を含めて、どのような研究開発をいつ実施させるのか、適切にマイルストーン（時期・内容等）を設定し、かつ定量的具体的な進捗スケジュールを記載してください。

*・社会実装にあたっての課題へのアプローチ*

*・技術的課題へのアプローチ*

*・資金導入対象機関からの資金導入時期や内容等*

*・関係する研究・技術動向の把握と、必要な範囲での評価・適用等*

※本項目の内容を簡潔にまとめ、e-Rad「共通項目」の「研究概要」に記載してください。  
（300文字程度）

# ３．知的財産の創出・保護・活用の考え

※以下の項目別にPMの考える知的財産に関する基本的な考えを簡潔に記載してください。

### （１）知的財産のマネジメントにあたり、どのようなメンバーでどのようなマネジメント体制を構築するのかについて、PMの基本的な考え方。

### （２）本課題で創出される研究成果について、知的財産として権利化する対象としない対象を区分する基本的な考え方。また、対象の発表・非公開についての基本的な考え方。

### （３）本課題実施期間中及び終了後の知的財産の権利化・維持（財源をどうするかを含む）、放棄、移転等についての基本的な考え方。

**４．PMが行う研究開発のマネジメント方針**

※以下の項目別に成果を最大化するために、どのようなマネジメントを行うのかについて、簡潔に  
記載してください。

### （１）進捗管理方法、情報管理に係る方針

### （２）共同研究グループの構築についての方針

※グループの形成手法、グループ間の競争や協調をどのように行うか

### （３）産業界をはじめとする社会実装に向けての方針

### （４）研究開発の改善や軌道修正、新たな知見・技術の導入、成果の展開にあたっての方針

・・・ 様式４はここまでで図表含め10ページを超えないこと ・・・

研究開発体制（様式５）

# １．研究開発体制に関する構想

※確実に参加が見込まれる主要な研究開発機関及び参加時期、また、同機関の役割・必要性、同機関からの参加予定の主たる共同研究者について簡潔に記載ください。将来的に参加を期待する研究機関及び参加時期については可能な範囲で記載してください。また、研究開発開始後の公募により役割を与える研究開発グループについても記載してください。  
また、参加予定の主たる共同研究者や研究開発機関について、我が国トップレベルの研究開発力や知見など本研究開発体制の重要なポイントとなる事項があれば特記してください。

# ２．研究開発機関の支援体制に関する構想

※確実に参加が見込まれる主要な研究開発機関における、研究開発が効果的・効率的に進められ、研究者等が研究開発業務へ注力できるような支援方策や体制について記載してください。また、当該支援について機関のどのような責任者・部局の了解を得ているかについても記載してください。

# ３．研究開発体制の概略図

※研究開発体制を図示してください。（当初の体制と将来的な体制について明示すること。

提案する研究開発の構想・計画に合わせ適宜修正等してください。下図は参考。）



# ４．研究開発体制

## （１）研究開発代表者（PM）のグループの体制

※JSTの専任となる場合、本項目は記載不要です。兼任で研究開発を実施する場合のみ記載してください。

#### ○ 研究開発代表者グループ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研究開発代表者 氏名** | **研究機関名1)** | **役職** | **エフォート2)** |
| ○○　○○ | ○○大学　大学院 ○○研究科 ○○専攻 | 教授 | 10％ |
| **研究開発参加者 氏名3,4)** | **所属(上記と同じ場合には省略5))** | **役職** | |
| ○○　○○ |  | 教授 | |
| ○○　○○ |  | 准教授 | |
| ○○　○○ |  | 講師 | |
| ××　×× | ××株式会社　××研究所 | 主席研究員 | |

1) もし現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載いただき、特記事項にてご事情をお知らせください。

2) エフォートには、研究者の年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(％)を記入してください。

3) 研究グループの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。

4) 研究参加者の行は、必要に応じて追加してください。提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 ○名」といった記述でも結構です。

5) 同じ研究実施項目を複数の組織で取り組む必要があれば、研究参加者として、異なる組織のメンバーを加えていただいても構いません。

### （１-１）研究開発構想における当該グループの役割

### （１-２）研究開発概要

### （１-３）特記事項

・特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入してください。

## （２）主たる共同研究者aの体制

・研究代表者の所属機関以外の共同研究グループ(共同研究機関)は、本様式5に研究機関ごとに記載してください。

・産学官からの様々な研究機関を共同研究グループとすることが可能です。

・研究開発グループの数に上限はありませんが、研究代表者の研究構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。編成においては、我が国のトップレベルの研究開発力及び知識を結集するため、指名や公募など適切な方法により研究開発機関・研究者等を選定してください。

・主たる共同研究者が担う役割が中心的でない、共同研究グループの役割・位置づけが不明であるチーム編成は研究開発体制としては不適切です。

・グループ数に応じて、表を追加削除してください。

・公募の場合は参加者の氏名・所属・役職等の記載は不要ですが、参加人数が把握可能なよう記載してください。また、公募の時期や、どのような機関・者を期待するかについて特記事項に記載してください。

#### ○ 共同研究グループa

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **主たる 共同研究者氏名** | **研究開発機関名1)** | **役職** | **エフォート2)** |
| ○○　○○ | ○○研究所　○○部門 ○○チーム | チームリーダ | 10％ |
| 研究者番号6)　：12345678  研究機関コード7)：1234567890 | |
| **研究参加者 氏名3,4)** | **所属(上記と同じ場合には省略5))** | **役職** | |
| ○○　○○ |  | 主席研究員 | |
| ○○　○○ |  | 研究員 | |
| 2名雇用予定 |  | 特別研究員 | |
| ××　×× | ××株式会社　××研究所 | 主席研究員 | |

1)～5) は前ページをご参照ください。

6) 主たる共同研究者は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad〔http://www.e-rad.go.jp/〕)へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載してください。

7) 所属先の府省共通研究開発管理システム(e-Rad〔http://www.e-rad.go.jp/〕)所属研究機関コードを記載してください。

### （２-１）研究開発構想における当該グループの役割

### （２-２）研究開発概要

### （２-３）特記事項

・当該グループを公募により設置する場合は、その時期、期待する機関・者の特徴等を記入してください。

・特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長など)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入してください。

## （３）その他の研究開発参画機関

※JSTと委託研究開発契約を結んで参画するのではないが、JSTと委託研究開発契約を結んで参画している研究グループに連携・協力する企業等や大学等。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究開発参加者 氏名3, 4)** | **所属** | **役職** |
| ○○　○○ | ○○研究所　○○部門 ○○チーム | 主席研究員 |
| ○○　○○ |  | 研究員 |
| ××　×× | ××株式会社　××研究所 | 主席研究員 |

### （３-１）研究開発構想における当該参画機関の役割

# ５．その他

※運営統括との利害関係がある場合はその内容を具体的に記載してください。利害関係の定義は募集要項「4.1.2 選考方法」の（2）をご確認ください。

研究開発予算計画（様式６）

・費目別の研究費計画と研究開発グループ別の研究費計画を年度ごとに記入してください。

・面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究費計画を提出していただきます。

・研究費は、本事業全体の予算状況、運営統括によるマネジメント、課題評価の状況等に応じ、採択時や研究期間の途中に見直されることがあります。

・研究開発チーム編成は、研究開発代表者（PM）の研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。研究開発グループは研究構想実現のために必要不可欠であって、目標の達成に向けて大きく貢献できることが必要です。

#### ○ 費目別の研究開発費計画（チーム全体）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **初年度**  (H29.10～  H30.3) | **2年度**  (H30.4～  H31.3) | **3年度**  (H31.4～  H32.3) | **4年度**  (H32.4  ～H33.3) | **合計**  (百万円) |
| **直接経費** | **設備備品費** |  |  |  |  |  |
| **消耗品費** |  |  |  |  |  |
| **旅費** |  |  |  |  |  |
| **人件費･謝金**  **(研究員の数)** |  |  |  |  |  |
| **その他** |  |  |  |  |  |
| **直接経費合計** | |  |  |  |  |  |
| **間接経費** | |  |  |  |  |  |
| **小計** | |  |  |  |  |  |
| **資金導入対象機関 の資金導入見積** | |  |  |  |  |  |
| **合計**  (百万円) | |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **5年度**  (H33.4～  H34.3) | **6年度**  (H34.4～  H35.3) | **7年度**  (H35.4～  H36.3) | **8年度**  (H36.4～  H37.3) | **9年度**  (H37.4～  H38.3) | **最終年度**  (H38.4～  H39.3) | **合計**  (百万円) |
| **直接経費** | **設備備品費** |  |  |  |  |  |  |  |
| **消耗品費** |  |  |  |  |  |  |  |
| **旅費** |  |  |  |  |  |  |  |
| **人件費･謝金**  **(研究員の数)** |  |  |  |  |  |  |  |
| **その他** |  |  |  |  |  |  |  |
| **直接経費合計** | |  |  |  |  |  |  |  |
| **間接経費** | |  |  |  |  |  |  |  |
| **小計** | |  |  |  |  |  |  |  |
| **資金導入対象機関 の資金導入見積** | |  |  |  |  |  |  |  |
| **合計**  (百万円) | |  |  |  |  |  |  |  |

※研究開発費の費目と、その使途は以下の通りです。

・設備備品費：設備や備品を購入するための経費

・消耗品費：消耗品を購入するための経費

・旅費：研究開発代表者や研究参加者の旅費

・人件費・謝金：研究員・技術員・研究補助員、RA(※)等の人件費、謝金

※RA(リサーチ・アシスタント)については、募集要項「4.2.7(1) 博士課程（後期）学生の処遇の改善について」をご参照ください。

#### ○ 研究グループ別の研究費計画

・研究チーム編成は、研究開発代表者の研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。共同研究グループを編成する場合、共同研究グループは研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できることが必要です。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**  (H29.10～  H30.3) | **2年度**  (H30.4～  H31.3) | **3年度**  (H31.4～  H32.3) | **合計**  (百万円) |
| **研究開発代表者G**  **○○大** |  |  |  |  |
| **共同研究G-a**  **××大** |  |  |  |  |
| **共同研究G-b**  **××研** |  |  |  |  |
| **直接経費 計** |  |  |  |  |
| **間接経費** |  |  |  |  |
| **合計** (百万円) |  |  |  |  |

#### ○ 活用予定の主要設備（機器名，設置場所）

#### ○ 購入予定の主要設備（1件5,000千円以上、機器名、概算価格）

○○グループ

△△△△△△△△△△ 15,000 千円

△△△△△△△△△△ 5,000 千円

△△△△△△△△△△ 10,000 千円

○○グループ

△△△△△△△△△△ 7,000 千円

△△△△△△△△△△ 10,000 千円

業績リスト・事後評価結果・特許リスト（様式7）

# １．本研究提案に関連する主要な論文・著書等*（15報以内）*

※論文についての記載項目は以下の通りとしてください。（著書の場合はこれに準じてください。）

※様式4で引用している論文は、論文名の前に「※」を記入してください。

**（１）研究開発代表者（PM）の主要な論文・著書等**

（記入例）

・著者（著者は全て記入してください。）、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

**（２）主たる共同研究者の主要な論文・著書等**

（記入例）

・著者（著者は全て記入してください。）、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

# ２．上記以外の主要な論文・著書等*（30報以内）*

**（１）研究開発代表者（PM）の主要な論文・著書等**

**（２）主たる共同研究者の主要な論文・著書等**

# ３．研究開発代表者の他の競争的研究資金制度等において代表を務めた研究課題の事後評価

(平成25年度以降に公開されたものに限る)

# ４．本提案に関わる知的財産権リスト

・重要な知的財産権※については、当該権利の先頭に「●」を付記すること。

※ 具体的な対象・定義は「知的財産マネジメント基本方針」

（http://www.jst.go.jp/mirai/jp/uploads/chizaihoshin29.pdf ）を参照のこと。

他制度での助成等の有無（様式８）

※研究開発代表者者（PM）および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請  
予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、制度名  
ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。  
募集要項「6.3 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

※記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集要項の巻末に記載された  
お問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

※面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

#### ○ 研究開発代表者：○○　○○

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **（代表者氏名）** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2)〃(H30年度予定)**  **(3)〃(H29年度予定)**  **(4)〃(H28年度実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| JST未来社会創造 事業（本提案） | 申請 |  |  | 代表 |  |  |
| 科学研究費補助金  基盤研究(S) | 受給 | ××による ◇◇の創成  （○○○○） | H27.4  －  H31.3 | 代表 | (1) 100,000千円  (2) 50,000千円  (3) 25,000千円  (4) 5,000千円 | 20 |
| JST戦略的創造 研究推進事業 CREST | 申請 | ××による ◇◇の高機能化  （○○○○） | H29.10  －  H35.3 | 分担 | (1) 140,000千円  (2) 35,000千円  (3) 8,000千円  (4) - |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

・現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載してください。

・助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、と記入してください。

・「役割」は、代表又は分担等を記載してください。

・「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額（直接経費）を記載してください。

・「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記載してください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。  
申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、大規模プロジェクト型のみに採択されると想定した場合の、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載してください。大規模プロジェクト型のエフォートと、現在受けている助成等のエフォートを合計して100％を超えないようにしてください。

・必要に応じて行を増減してください。

#### ○ 主たる共同研究者a：△△　△△

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **（代表者氏名）** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2)〃(H30年度予定)**  **(3)〃(H29年度予定)**  **(4)〃(H28年度実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| JST未来社会創造 事業（本提案） | 申請 |  |  | 分担 |  |  |
| 厚生労働 科学研究費 | 受給 | ××開発に関する実践研究  （○○○○） | H27.5  －  H31.3 | 代表 | (1) 50,000千円  (2) 20,000千円  (3) 20,000千円  (4) 5,000千円 | 10 |
|  |  |  |  |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) －  (4) － |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

#### ○ 主たる共同研究者b：□□　□□

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **（代表者氏名）** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2)〃(H30年度予定)**  **(3)〃(H29年度予定)**  **(4)〃(H28年度実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| JST未来社会創造 事業（本提案） | 申請 |  |  | 分担 |  |  |
| ○○財団 ××研究助成 | 受給 | ××分野への  挑戦的研究  （○○○○） | H28.4  －  H30.3 | 代表 | (1) 2,000千円  (2) 0千円  (3) 1,000千円  (4) 1,000千円 | 15 |
|  |  |  |  |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) －  (4) － |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

人権の保護および法令等の遵守への対応（様式９）

※研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

※チーム内に海外の共同研究グループが含まれる場合は、研究開発代表者（PM）グループ及び国内の共同研究グループの安全保障貿易管理に係る規程の整備状況について、必ず記載ください。

※該当しない場合には、その旨記述してください。

照会先（様式10）

※当該研究開発課題についてよくご存じの方を2名挙げてください(外国人でも可)。それぞれの方の氏名、所属、連絡先(電話/電子メールアドレス)をご記入ください。選考(事前評価)の過程で、評価者(運営統括および研究開発運営会議委員)が、本研究開発提案に関して照会する場合があります。

※この照会先の記載は必須ではありません。